

岩木川渇水で放流量を増やします！
～目屋ダムの水位低下への手助け～

第2回岩木川水系渇水情報連絡会（8月9日開催）では、目屋ダムが最低水位を下回れば、目屋ダム及び相馬ダムから緊急放流を実施することが確認されました。

そのため、8月10日、16：00「岩木川水系渇水対策支部」は、注意体制から警戒体制に移行しました。

今後、昨年に引き続き、目屋ダム及び相馬ダムから緊急放流が実施される予定です。農業用水をはじめとした深刻な水不足が懸念されております。

これを受け、浅瀬石川ダム管理所では、次の緊急支援を実施します。

○岩木川への放流量増量

- ・8月10日、17時から浅瀬石川ダムの放流量を2割程度増量。岩木川の渇水対策を支援します。
- ・岩木川への放流量増量を行うことで、五所川原市付近の流量低下を軽減することができます。

○水道水の安定供給

弘前市水道用水について、岩木川から取水できない場合は、浅瀬石川ダムから取水している津軽広域水道企業団からの受水量を増量します。

※なお、浅瀬石川ダムの貯水位及び放流情報等については、当管理所のホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/aseishi/>で公開しております。

※発表記者会 : 弘前記者会、黒石記者クラブ、津軽新報社

国土交通省 東北地方整備局 浅瀬石川ダム管理所
黒石市大字板留字杉の沢2（TEL0172-54-8782）

管理所長	きむら 木村	しんえつ 信悦	（内線201）
管理係長	やまうち 山内	せいえつ 盛悦	（内線332）

【浅瀬石川ダムの現状】

8月10日、9時現在における浅瀬石川ダムの貯水率は、66%になっています。

この状況であれば、仮に8月末まで雨が降らなかったとしても、水道水の取水制限や農業用水の番水制を実施することもなく、^{*1}5市4町村への水道水及び^{*2}7,700畝の農業用水について安定的に供給できる見込みです。

^{*1}黒石市、弘前市、五所川原市、平川市（旧平賀町、旧尾上町）、青森市（旧浪岡町）、藤崎町（旧藤崎町、旧常盤村）、板柳町、鶴田町、田舎館村で35万人分の水道水を供給

^{*2}浅瀬石川土地改良区（黒石市、五所川原市、平川市（旧平賀町、旧尾上町）、青森市（旧浪岡町）、藤崎町（旧藤崎町、旧常盤村）、板柳町、鶴田町、田舎館村）

■浅瀬石川ダム貯水状況(平成24年8月10日 9:00現在)



浅瀬石川ダム水位管理の状況

